ＭＥＭＯ

 気圧

　気圧計　　を使う。１気圧＝1013ｈＰａ＝約１Ｎ／cm２ 100ｍ高くなると約１０ｈＰａずつ低くなる。

 気温

　百葉箱　を使う。建物から離れた風通しの良い高さ１．２～１．５ｍのところ。単位は ℃

 湿度

　乾湿計　を使う。建物から

離れた風通しの良いのところ。単位は ％

 雲のようす

雲の形（名前）

雲量（全天に占める空の割合）

高さ、厚さも見る

～１０％…快晴　１０～９０％…晴れ　９０％～くもり

 風向

風の吹いてくる

方向を１６方位

で表す。

 風力

風の吹く強さを

１３段階で表す。

矢羽の本数で表す。





　天気図は、各地で観測した晴れや雨などの天気・気温・気圧・風向き・風力の結果を分かりやすくまとめて図に表したものです。観測地点の天気は（　　　天気用図記号　　　）で、風向きと風力は矢羽根で表しています。　最近の多くの天気図は、コンピュータで書かれたもので、各地の天気が表示されないものが多くなってきました。しかし、新聞などに掲載される天気図には、まだ各地の天気や風向風力が書かれているものがあります。

　そのほかに曲線がえがかれています。この曲線は気圧が同じ数字のところを結んだ線（　等圧線　）です。

数字が大きいと気圧が高いことをしめします。曲線が丸くなっていて「高」と書いてあるところは（　高気圧　）

「低」と書いてあるところは（　低気圧　）です。「三角形とか半丸のついた線」は前線といいます。

　この図のように天気図と雲画像が重なっていると、どこに雲が分布しているかも分かります。

雲が多いのはどこですか？「　低　」「　前線　」のところが多いですね。雲が多いところは雨が降っていることが多い場所です。つまり（　低気圧　）や（　前線　）のところはお天気が良くないようです。それとは逆に「　高　」（　高気圧　）のところは雲が少なくて晴れが多いところです。天気図と雲画像を重ねてみると、もっと天気を予想することができますね。う～ん、新聞もすごいなぁ。さすがです、日本の天気予報！

|  |  |
| --- | --- |
| 天気を読み取ってみよう | 天気をかき込んでみよう |
|  |  |  |  |
| （ 　　　　　　）の風風力（　　）天気（　　 ） | （ 　　　　　　）の風風力（　　）天気（　　 ） | 南の風風力　３　　天気　雨 | 北北西の風風力７　　天気　雪 |

　高気圧や低気圧、熱帯低気圧（台風）の中心は「×」で表されています。その近くに「高」「低」「熱低」「台風」などと書かれていて、中心気圧が書かれています。その近くの矢印と速さは、その高気圧や低気圧などがどの方角に、どれぐらいの速さで進んでいるかを表しています。

●高気圧

　高気圧は重い空気なので、下に下がっていきます。下に下がるとまわりに空気が広がっていきます。これが風です。雲やしめった空気もまわりに散っていくので、高気圧があるところは天気がよくなります。

●低気圧

　低気圧は軽い空気なので、上に上がっていきます。

まわりから空気が流れこんでいきます。これが風です。

空気が上がっていくと、冷やされて雲ができます。雲

が同じ所に重なっていくので、低気圧があるところは

（　雲　）ができて（　雨　）がふりやすくなります。

暖かい空気と冷たい空気がぶつかるところは（　　前線　　）とよばれます。前線では

（　雲　）ができ、（　雨　）がふりやすくなります。前線の南側が（　暖かい　）気団、

北側が（　　冷たい　　）気団です。これを知っていると、天気予報のコツがつかめます。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 温暖前線（赤） | 寒冷前線（青） | 閉塞前線（赤と青） | 停滞前線（赤と青交互） |
|  |  |  |  |

　地図の等高線のように引かれている線が「　等圧線　」。同じ気圧の地点を結んだ線です。１０００ｈＰａを中心に４ｈＰａごとに細い線で、２０ｈＰａごとに太い線で引かれています。等圧線の間隔が広い場合には、

２ｈＰａごとに破線で引かれることもあります。等圧線は、途切れたり、わかれたり、交わったりしません。

【問題】　（１）ユーラシア大陸にある高気圧の中心気圧は何ｈＰａですか？

（２）天気図には４つの低気圧が描かれていますが、それぞれの中心気圧は何ｈＰａですか？

（３）フィリピン近くにある熱帯低気圧の中心気圧は何ｈＰａですか？

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| (1) | (2) | (3) |
|  |  |  |  |  |  |

　２年　　組　　番　氏名

